

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 福本貴久

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和6年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 令和7年度予算編成方針について	【趣旨説明】 令和7年度の予算編成方針は、武豊町が将来のまちづくりにおいて重要な転換期を迎えていることを踏まえ、持続可能な財政運営と効率的な行財政改革を軸に、町民の生活向上を目指すもので、具体的には、第6次総合計画の5年目として「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」という町の将来像を実現するために、引き続き各種施策を推進する内容である。 今回の予算編成では、まずゼロカーボンシティ宣言に基づく GX(グリーントランスフォーメーション)を積極的に進めることを明確に打ち出し、再生可能エネルギーの導入拡大を図ることで、環境負荷を低減し、地域と共生する持続可能なまちづくりを進め、また DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進により、デジタル技術を活用して公共サービスの維持・強化を図り、利便性向上と行政運営の効率化に取り組むとしている。一方で、町税の大幅増収により令和5年度から普通交付税の不交付団体となったことは喜ばしい反面、その増収要因が償却資産に依存しているため、長期的な安定収入にはつながらないという課題も抱えており、今後も持続可能な財政運営を確保するためには、中長期的な視点で財源の確保と効率的な予算執行が不可欠である。 また現状を踏まえ、子育て支援の強化、高齢者福祉の充実、地域防災の強化など、町民が安心して暮らせる環境を整えることにも力を注ぐとしている。特に、子育て支援に関しては、こども家庭センターの設置や母子保健・児童福祉の一体的支援の強化に取り組むことで、子育て世代が安心して暮らせる環境を提供する。加えて、高齢化に対応するため、医療・介護体制の充実と健康づくり事業の推進も重要な施策として掲げている。 武豊町は、愛知県内で「住み続けたい街」ランキングの上位に評価されるなど、住民の間に強い愛着が育まれており、この評価を背景に「住みよいから、住みたいまち」を目指し、持続可能で効率的な行政運営を通じて、地域の活力をさらに引き出していけるポテンシャルを持っており、「翔(しょう)」という文字に込めた思いのもとで、町がさらなる飛躍を遂げるように、積極的かつ柔軟な予算編成方針が示されている。 そこで、各施策の具体的な取り組みや内容などについて、町民の皆さまにわかりやすいように、町当局の考えを伺う。 【質問事項】 ①第6次総合計画の進捗状況と、今後の課題については。 ②令和7年度の予算編成方針で、重視している施策は何か。 ③ゼロカーボンシティ宣言に基づく再生可能エネルギー導入拡大の計画は。 ④デジタル行財政改革における DX 推進の具体的な取り組み内容は。 ⑤子育て支援の充実に向けた新たな取り組みは。 ⑥高齢化が進む中での医療・介護体制の強化策は。 ⑦防災対策の拡充に向けた施策は。 ⑧町税の増収が一時的なものである中、今後の財政の持続可能性をどう確保するのか。 ⑨行財政改革の進捗状況と今後の課題についてどのように考えているか。